

# かいほつ

## 62号

題字 岡崎小学校  
5年 市川 稜真

岡崎市現職研修委員会

特別支援教育部会  
(特別支援学級部会)

平成22年2月22日発行



「ぼくたちが作りました。」  
「どうぞ!」

▲手作りのカレンダーを東部学校給食センターに届けたよ(美合小)



A君たちから教えられたこと

井田小学校長

柴田 秀夫

中舎から北舎へ行くと、おいしそうなおいがした。そのにおいにつられるように、七組さんの教室へ入った。みんなで協力して焼いたドングリクッキーを食べていた。「こうちようせんせいにもあげる。」とA君が駆け寄り、「二人二個。」と、B君が言った。そして、「二学期後半から転校してきたC君が「一個食べたなら、もう一個いいよ。」と言ってくれた。いつ教室を訪ねても、特別支援学級からは温かい会話が生まれてくる。

二学期後半、この学級で算数科の校内授業研究が行われた。クリップのついた紙製の魚を磁石で釣り上げる。この魚に書いてある数字を使って計算練習をするという手立てが工夫されていた。三つに分けられた池には、一人一人の実態に合った数字が書いてある魚が入れてあった。A君は二けたの数字が書いてある魚を使って筆算ができるようになって欲しい、B君には一けたの数字をシールをはりながら二十まで数えられるようになって欲しいなどという個別目標が決められていた。釣り上げた魚の数字を使って計算が始まった。ちよつと首をかしげているB君を見つけると、担当が子どもの隣にそつと寄り添うように移動した。はっきりと言えないB君が話し出すまでじつと待つてから、一言二言声を掛けた。すると、安心したのか、B君はがぜんやる気になって計算を始めた。

授業後に、先生方で話し合いがもたれた。楽しい手立ては大切だが、A君やB君にとっては、いつの時期にどのくらいのスパンで学習したらより伸びるか、支援には子どもに合わせる柔軟さが必要という反省が出た。そのためにも、三人の担当が協力してやっつていこうと確かめ合った。

支援するという言葉がよく使われるが、学級の基盤に温かさをつくること、子どもの実態をつかみ、それぞれの子の特性に応じた計画・個別目標と手立てを決めること、一人一人に寄り添って指導すること、これらは、まさに授業をすることの基本である。

特別支援学級の子どもたちとの出会いから、改めて目ごろの授業について教えられた気がする。今日もA君たちの教室に行きたくなった。



# 子どもと親の集い ブロック交流会

## 楽しかったブロック交流会

矢作・矢作北ブロック

矢作西小 六年 平澤 広大

七月三十日、矢作中学校でブロック交流会がありました。

前半は、ゲーム屋さんをやりました。ぼくたち四組は、手作りのサイコロすごろくゲームのコーナーを開きました。大はんじょうでとても楽しかったです。遊びに行った所は、魚つりのコーナーです。四匹つれました。ぼくの自まは、大きな車エビがつれたことです。後半は、みんなで流しそうめんを食べました。かき氷も二回おかわりをしました。すごくおいしかったです。



▲「おいしい。」「やったあ。」

## ブロック交流会に参加して

北・岩津・常磐ブロック

常磐中 二年 中島 美由紀

十月二十一日に、おかざき自然体験の森で北ブロック交流会がありました。この日は私にとって、とても楽しみにしていた日でした。

最初にみんなでさんぽを歌い、グループ別に集まって、自己紹介をしました。午前中はそのグループで山歩きをして、午後は学年別で宝探しゲームをしました。山歩きではたくさん歩いて疲れてしまったけれど、あずまやから見る景色はともきれいでした。

交流会を通して、他の学校の人とも仲良くなっているいろいろなことを話せたので、交流会に参加してよかったなと思います。交流会はあと一回あるので、今回のように他の学校の人と仲良くなれるようにしたいです。



▲宝探しゲーム

## 楽しかったダンス

南・福岡ブロック

羽根小 六年 吉村 優哉

十二月二十五日に六つの学校が集まってクリスマス会をやりました。ぼくたちは、学校紹介の時、ピアノでカエルの合唱を弾きました。なかなかうまくいきました。中学生はギターを弾いていて、すごいなと思いました。

次は、みんなでダンスの時間でした。ぼくの好きなドラゴンボールの曲だったから、楽しくなりました。タオルを丸めて、お母さんが手で作ってくれた穴に投げて入れるのが、おもしろかったです。幸田先生の遊びは楽しかったので、またやりたいです。

最後に、サンタさんが来て、うれしかったです。もらったおかしは、すぐ食べました。帰りに、お母さんが「ダンスよかったね。」と言っていました。



▲羽根小の学校紹介

今年度は新型インフルエンザが猛威を振るったため、どのブロックも日程の調整がたいへんだったようです。そんな中でも、ゲームやフリスビー作り、ドーナツ作り、流しそうめんなど親子で楽しめるプログラム満載でした。ミニ運動会やリズム体操、風船パレーなど体を動かすメニューも多くありました。その他、おかざき自然体験の森へ出かけたり、講師を招いてダンスを行ったり、先生方の豊富なアイデアにより様々な工夫がされていました。どのブロックも大きな声で自己紹介をする児童や、司会進行を一生懸命行う中学生的堂々とした姿がありました。

### 各ブロック活動一覧

北・岩津・常磐	おかざき自然体験の森での自然体験
葵・城北	交流レクリエーション・各校の模擬店
甲山	なかよしゲーム、リズム体操、サラダ作り
美川	少年自然の家でデーキャンプ
東海・額田	名刺交換、各校のお店屋さん
南・福岡	各校の出し物、講師によるふれあいダンス
竜海	作品交換観賞会
竜南	デザート作り、ふれあいゲーム
六ツ美・六ツ美北	ふれあいゲーム、どきどきラリー、ドーナツ作り
矢作・矢作北	流しそうめん、餅つき



# 小学研究会

根石小

根石小 教諭 深津 幸弘

本校では三十二年前から継続して、毎朝全学級で担任が読み聞かせを行っている。

本学級に在籍するA君は想像力が十分でなく、聞いただけで情景を思い浮べるのが苦手である。そして、もっと本の世界を楽しめないかと、A君の好きなテイラノサウルスシリーズの登場人物や舞台を製作して人形劇を見せた。さらに、A君もパペットを操ってせりふを読み、交流学級の児童に披露すると、大好評だった。

十一月二十七日、読書指導自主研究発表会でも人形劇を行うと、表情豊かにせりふを読むA君の姿に、参観された先生方から称賛の声があがった。



▲パペットを操るA君

# かいほつ塾

岡崎小 教諭 堀場 雅夫

特別支援教育の進展とともに、指導技術や子どもの理解、保護者対応の知見が急速に広まっている。この知見を市内特別支援教育担当者が共有し、学び合うことができるように、特別支援教育担当者の中の研修部を中心に、自主研修会「かいほつ塾」が運営された。

講師は、大学や関係の専門家、経験豊富な特別支援教育担当者などで、とてもわかりやすく、日ごろの私たちの活動を振り返りながら聞くことができた。

年間十回の開催がされ、次のような講座があった。

- ・ 知能検査の利用と解釈の要点I・II
- ・ 個別の指導計画作成の基礎基本
- ・ 教育相談の基本知識と対応スキル
- ・ インターネット情報と教材
- ・ 教育論文のまとめ方
- ・ 優良授業の紹介と指導のポイント
- ・ 問題行動への対応「行動分析」
- ・ 事例検討 インシデントプロセス法
- ・ 感覚統合の教材化 心の理論

参加者は、のべ約三五〇名を超えた。参加されたみなさんは、講師の先生の話を受納げながら聞いていた。実践に取り入れていきたいと思う。

# みあい養護学校

高等部 一年 後藤 那津代

私は、学校へバスで毎日通っています。バスは、東岡崎で乗りかえます。五十分もかかります。はじめは、怖かったけど、今は、平気になりました。学校では、クラスには、七人の友達がいいます。私は、軽スポーツ部に入っています。走ったり、縄跳びしたり、ボールを使って運動したりしています。作業学習では、そうじをがんばりました。窓をワイパーでみがいたり、庭をきれいにはいたりしました。

いろいろな行事も楽しいです。十二月のミニミニみあいフェスタで、クラスのみんなでエグザイルをおどりました。かみの毛に金色のふわふわヘアをつけて、サングラスをかけておどりました。ふりつけは、クラスのみんなで作って、おもしろいものになりました。みんなが大笑いしてくれました。社会見学では、トヨタの自動車工場や博物館にも行きました。二年生、三年生になるのが楽しみです。



▲制服です

# 六ツ美北部小学校の通級教室



▲ひかり教室での活動の様子

六ツ美北部小 教諭 市川 早百合  
今年度、LD対象通級指導教室「ひかり教室」が六ツ美北部小学校に新設されました。近隣の六ツ美西部小学校への巡回指導もしています。

私は、今まで通常学級担任の経験しもなく、特別支援教育に携わるのが初めてで、本当に手探りの毎日です。

「ひかり教室」では、国語や算数の学習支援をしながら、その子に合った学習の仕方を探っています。また、対人的な難しさや問題行動がある場合には、ソーシャルスキルトレーニングで、どんな時にどんな行動をすればいいのかを考え、時と状況に応じた適切な行動がとれるよう練習しています。

三学期から新たに三名が加わり八名が「ひかり教室」で勉強しています。これからも、担任の先生や保護者との連携を大切に、その子が通級指導で培った力を、クラスや家庭で発揮できるように支援をしていきたいと思っています。





# 卒業を前に

「みんなありがとう」

大樹寺小 六年 河井克世志

「ありがとう。おかあさん、ともだち、そして先生」みんなのおかげで、もうすぐそつぎようできます。ともだちとけんかをたくさんしました。先生には、たくさんしかられました。でも、ぼくはともだちも先生も大すぎです。

ぼくは、しょうらいドーナツやをひらきたいです。だから中学校に行ったら、国語も数学もがんばります。お世話になった学校、大樹寺小学校よ、ありがとう。さようなら。

自分でできることがふえたね

大樹寺小 保護者 河井利加子

小学校へ入学したのが、ついこの前のようにです。六年たち、成長できたのも、周りの人たちのおかげです。感謝の気持ちを忘れないでね。

四年生のとき、とても上手な書写の作品を見て、びっくりしました。今年は、絵画作品展で表彰状をもらったね。いるかをみんなで見ている絵がとても上手でしたよ。

いよいよ中学生。将来、自分でお金をかせいで、生活できるよう、頑張ってるね。応援しています。

思い出いっぱいのある三年間

竜南中 三年 太田 有哉

ぼくは、竜南中学校でたくさんのお話を勉強しました。三年間はとても楽しかったです。文化祭で、ぼくが作ったクリスマスミニツリーをたくさんのお客さんが買ってくれたことが、すごくうれしかったです。

たくさんのお客さんと別れて、竜南中学校を卒業するのは、さみしいけれど、後はい達には、がんばってもらいたいと思います。

高等部に入ったら、新しい友達をいっぱい作りたいです。

さらなる成長を目指して

竜南中 保護者 太田 裕子

この間入学式だったと思えば、もう卒業を迎える時が来ました。入学当時は、授業や学校行事に対応できる心配の毎日でした。しかし、今思えば親の取り越し苦労で、本人は親の心配をよそに、しっかり成長していたのです。皆さんのお力添えがあつてのことですが、いつの間にか自ら進んで行動することができるようになった我が子に驚いています。

中学での成長がこれからのさらなる成長につながることを願っています。

# 卒業生の進路希望先

今年度開設されたみあい養護高等部、平成二十二年度開設の豊川養護本宮校舎への進学と門戸がさらに開かれた進路指導でした。

## 進路希望先

進路希望先	男子	女子	計
愛教大附属 特別支援学校	0	0	0
みあい養護学校	15	3	18
豊川養護学校 (本宮校舎)	2	0	2
豊田高等養護学校	7	3	10
半田養護桃花校舎	2	1	3
高校(全日制)	0	2	2
高校(定時制)	1	2	3
専修学校	1	4	5
春日台職業訓練校	0	0	0
就職・その他	1	1	2
合計	29	16	45

(二月一日現在)

# 今年度の表彰

・読書感想画コンクール  
市教育委員会賞  
連尺小 柴田 昌弥

・財団法人愛知県教育  
スポーツ振興財団主催  
スポート振興財団主催  
こども絵画コンクール  
岡崎総合運動場長賞

・第七十七回全国書画展覧会  
書の部  
銅賞 南中 三浦 健  
入選 南中 岡田 健一  
南中 鷺池 夏季

・第十六回愛知県  
ヴォーカル・アンサンブル  
コンテスト  
銅賞 常磐中 中島美由紀  
銅賞 常磐中 中島美由紀

・第七十六回全国学校音楽コンクール  
銅賞 常磐中 中島美由紀  
銅賞 常磐中 中島美由紀

・CBCこども音楽コンクール  
地区大会  
優良賞 常磐中 中島美由紀  
優秀賞 福岡中 宮内理江花

・NHKハート展  
特選 福岡小 近藤 貴之  
ハナマルキ詩集「おかあさん」  
準秀作 福岡小 近藤 貴之

・岡崎市総体  
三位 北中 治々和 諒

・市長杯 ソフトテニスの部  
三位 北中 治々和 諒

・市杯 ソフトテニスの部  
三位 北中 治々和 諒

・市杯 ソフトテニスの部  
三位 北中 治々和 諒

・市杯 ソフトテニスの部  
三位 北中 治々和 諒